

# ようじえんだより 2022年度4月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地  
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

## 4月主題『はじめの一步』

主題聖句：わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。

詩編 121 編 2 節

- ☆ 0歳児：神さまからお預かりしたいのちとして大切にされる。新しい場所で友だちや保育者と出会う。自分のありのままを表現して受け止めてもらう。(保育者は)一人ひとりの生活リズムや発達段階に合わせて丁寧に関わる。
- ☆ 1～2歳児：保育者と祈ったり、賛美する中で神さまと出会う。受け入れてもらえる安心感をもって過ごす。春の草花、虫などに触れ、心を開いていく。(保育者は)神さまが与えてくださった子どもや親との出会いを喜び、丁寧に関わっていく。
- ☆ 3歳児：新しい生活の場で賛美や祈りの時を心地よく感じ、安心して過ごす。自分が受け止められ安心を重ねていく中で好きな遊びや場所が見つかる。春の訪れを喜び、草花や虫など命あるものと触れ合うことや絵本や歌などに親しむ。(保育者は)子ども、保護者、保育者同士、ありのままの姿を受け止め、共感をもって関わる。
- ☆ 4～5歳児：賛美や祈りの中、聖書の話や聴く時やまた生活を通して、神さまの愛を感じる。これまでの関わりに重ね、新たに出会った保育者や友だちと交わる中で居場所が生まれる。光、風、草花、虫など自然の面白さや美しさを楽しむ。(保育者は)一人ひとりの心とつながりを持ち、生活や遊びの一步一步を支える。困った時や悲しい時に相談できる存在となる。

Q, 4月から幼稚園に入園します。子どもが早く幼稚園での生活に慣れるために親としての心構えはありますか？(0歳 P子ママ)

### A. 生活リズムの確立とスキンシップ！何より子ども自身もつ生きる力を信じること

P子ママさん、ようこそ十日町幼稚園へ！P子ちゃんにとってきっと楽しい園生活になりますよ。最初のうちは泣かれて親としても切ない思いをするかもしれませんが、いずれ泣き止み喜んで登園するようになります。前任地もふくめて何百人という子どもたちと接してきました

が、ずっと泣き続ける子は一人もいませんからご安心を。

親としての心構えがあるとすれば、生活リズムをある程度一定に保つことと、子どもが抱っこなどのスキンシップを求めてきたら可能な限り応じることでしょうか。大切なことは子ども自身が「生きようとする力」「伸びる力」を持っているということです。下手に干渉し続けることは伸びる力を阻害しかねませんので、子ども自身が持っている生きる力を信じ、園と保護者の方が密に連携して、子どもの良いところ見つけながら育てていきましょう。 園長:久保田愛策

## 年間主題『つながって～今、わたしを生きる～』

主題聖句：主がすべての災いを遠ざけて あなたを見守り あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも帰るのも 主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。 旧約聖書 詩編 121 編 7～8 節